

(2) 国府・不動・北井上・南井上地域

徳島市の北西部に位置する当地域は、主に平地により構成され、稲作や野菜・花卉栽培が盛んな近郊農業地帯です。南部の国府地区には、由緒ある神社仏閣や遺跡・古墳群が多くあり、歴史の街として知られています。また、当地域の東側には鮎喰川が流れ、北側を流れる吉野川に注いでいます。吉野川と鮎喰川の合流域は、淡水と海水が混じる汽水域で、大潮の干潮時に広い砂礫浜が出現します。

水田には、アマガエルなどのカエル類が多くみられるほか、蛙には、ヒガンバナなどがみられます。吉野川の水辺にはヨシ原や砂礫浜が広がり、アシハラガニなど底生動物がみられるほか、ヨシ原で巣づくりをするオオヨシキリなどの鳥類や、乾いた草地にすむキリギリスなどの昆虫類がみられます。

鮎喰川の砂礫浜にはヤマトシジミが多くみられ、沿岸から汽水域に侵入してきたスズキなどの汽水海水魚や、上流に遡上するアユカケなどの回遊魚の姿がみられます。また、周辺の用水路では、流れの緩やかな場所を好むメダカが確認されています。



1 水田



2 水田や草むらなどに生息するアマガエル



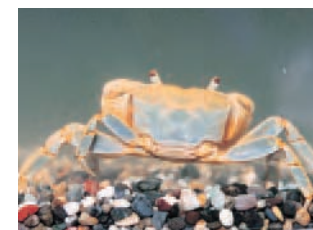
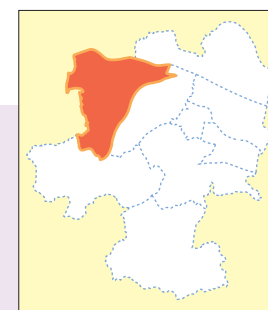
3 水田の蛙や河川敷に生育するヒガンバナ



4 吉野川の水際に広がるヨシ地



5 河川水際の湿った場所に生育するアイアシ



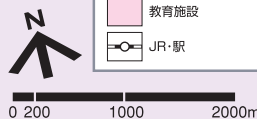
6 ヨシ原や砂礫浜にみられるアシハラガニ



7 ヨシ地に生息するオオヨシキリ



8 流れの緩やかな場所を好むメダカ



9 茂った草地に生息するキリギリス



10 干潮時に砂礫浜が出現する鮎喰川下流域



11 回遊性で礫底に生息するアユカケ